

<b>令和8年度 安全計画</b>					
～ 子どもの生命及び身体の安全を最優先とする保育環境の確立 ～					
対象事業者	合同会社PON NIPPON				
策定日	1月6日2026年				
最終改訂日	2026年3月10日 (第2.0版)				
策定主体	運営管理本部				
<b>1. 目的</b>					
本計画は、ベビーシッター事業において児童の生命及び身体の安全を確保し、事故及び災害を未然に防止するとともに、緊急時に適切な対応を行うことを目的とする。					
<b>2. 基本方針</b>					
1. 子どもの生命及び安全を最優先とする。					
2. 事故予防及び危険の未然防止に努める。					
3. 緊急時には迅速かつ適切な対応を行う。					
4. 保護者との連携及び情報共有を徹底する。					
5. 全スタッフが継続的に安全管理に関する知識及び技術を習得する。					
<b>3. 成果目標（数値目標）</b>					
<b>重大事故発生件数</b>		<b>安全研修実施率</b>		<b>緊急連絡先確認率</b>	
目標値	<b>0件</b>	目標値	<b>100%</b>	目標値	<b>100%</b>
実績値	[ 0 ] 件	実績値	[ 20 ] %	実績値	[ 100 ] %
<b>ヒヤリハット共有率</b>		<b>移動時人数確認実施率</b>			
目標値	<b>100%</b>	目標値	<b>100%</b>		
実績値	[ 100 ] %	実績値	[ 100 ] %		
<b>4. 安全計画の見直し</b>					
安全計画は年1回以上見直しを行う。また、事故報告書、ヒヤリハット報告書、保護者からの意見、研修実施結果等を踏まえ、必要に応じて改善を行う。					
<b>5. 改訂履歴</b>					
版数	改訂日	改訂内容		承認者	
第2.0版	3月10日2026年	新規策定（令和8年度安全計画の作成、認可外指導監督基準への適合）		重山 俊樹	

安全管理取組・自主点検表（令和8年度）							
※日々の保育前安全点検、および定期的な安全管理体制のチェックシートとして使用します。							
No.	区分	点検項目	実施頻度	具体的な実施内容・確認ポイント	点検状況	確認日・確認者	改善アクション・備考
1	事故防止のための安全管理	誤飲、誤食防止	保育開始前	誤飲、誤食につながる物品（直径39mm以下の小物、電池、硬貨、玩具の破片等）が床や手の届く場所にないか確認し、除去・移動を徹底する。	適合		
2	事故防止のための安全管理	家具の転倒防止	保育開始前	訪問先の居室において、大型家具（本棚、テレビ等）の転倒防止措置状況を確認し、不安定な積載物がある場合は安全な場所に避けるなどの配慮をする。	適合		
3	事故防止のための安全管理	転落防止の施設	保育開始前・中	転落の危険がある窓、ベランダ等の施設確認を行う。特に窓の近くに幼児が踏み台にできるもの（足がかりとなる椅子やゴミ箱など）がないか確認する。	適合		
4	事故防止のための安全管理	危険物の管理	保育開始前	刃物、薬品、洗剤、電池、ライター等の危険物が、子どもの手の届かない扉付収納や高所に適切に管理・保管されているか確認する。	適合		
5	事故防止のための安全管理	電気コードの安全	保育開始前	コンセント、コード類の安全確認（たこ足配線の有無、感電防止カバーの有無、断線の有無、音に巻き付くリスクのある配線の整理等）を行う。	適合		
6	事故防止のための安全管理	危険箇所の確認	保育開始前	浴室（浴槽の水は事故防止のため完全に抜く）、キッチン（包丁やコンロ付近への立ち入り防止策、チャイルドロック等）の危険箇所への立ち入り防止を確認する。	適合		
7	事故防止のための安全管理	戸外安全確認	活動前	戸外活動場所（公園、遊歩道、広場など）の危険箇所（壊れた道具、崖、交通量の多い交差点、目録の有無など）を事前に確認し、安全ルートを選定する。	適合		
8	事故防止のための安全管理	環境設定	保育開始前	児童の年齢及び発達に合った安全な保育環境設定（クッション性のあるプレイマット、安全基準を満たした玩具の選定等）を行う。	適合		
9	事故防止のための安全管理	[改善] 睡眠時チェック	睡眠中（都度）	【SIDS予防】うつぶせ寝を避け仰向け寝を徹底。顔色・呼吸を乳児5分、1歳以上10分間隔でチェックし、睡眠チェックシートに記録する。呼吸の状態、表情を自目で確認できる明るさを確保する。	適合		
10	事故防止のための安全管理	[改善] 食物アレルギー	食事・おやつ前	児童のアレルギー情報の事前確認を徹底。引き渡し時の再確認を行い、再度食事提供前に内容を確認する。	適合		
11	不審者対策及び緊急時対応体制	避難経路の確認	初回・定期	訪問先の居室における避難経路（玄関・ベランダ避難口等）及び、近接する指定避難場所（避難所・広場）の位置と経路を確認する。	適合		
12	不審者対策及び緊急時対応体制	不審者対応手順	緊急時	不審者発見時・遭遇時の対応手順（速やかな玄関・窓の施錠、児童の安全確保・死角への回避、110番通報、防犯ブザー・防犯ツールの活用等）を周知・徹底する。	適合		
13	不審者対策及び緊急時対応体制	緊急連絡先一覧	初回・定期	緊急連絡先一覧（警察110、消防119、児童相談所、自治体窓口、かかりつけ医、提携医療機関、本部緊急ダイヤル等）を整備し、すぐに発信できるようにする。	適合		
14	不審者対策及び緊急時対応体制	110番通報手順	緊急時	110番・119番通報手順を確認する（焦らず、住所、状況、ケガの有無、児童の安全状態を冷静に伝える手順の事前理解）。	適合		
15	不審者対策及び緊急時対応体制	保護者連絡体制	初回・定期	保護者への緊急連絡体制（電話、予備の勤務先連絡先、LINE・アプリ等）を整備し、非常時の優先順位や伝言ダイヤル（171）の使い方をすり合わせる。	適合		
16	不審者対策及び緊急時対応体制	避難方法の確認	災害発生時	地震、火災等の災害発生時の避難方法（防災頭巾・ヘルメット着用、避難靴の準備、持ち出し品の最小化、非常用飲料・食料の確認等）を確認する。	適合		
17	不審者対策及び緊急時対応体制	緊急時マニュアル	定期（月次）	緊急時対応マニュアル（地震、火災、不審者、ケガ・急病時）を整備し、いつでも参照できるようにアプリ内または手元保管・再読確認を行う。	適合		
18	不審者対策及び緊急時対応体制	[改善] 救命救急・応急処置	定期・保育前	【救急対応】ケガや急病時の応急手当（心肺蘇生法、AEDの使用、窒息時の背仰叩打法・腹部突き上げ法等）の手順を確認し、救急箱等の整備状況を確認する。	適合		
19	移動時の安全管理	出発前の人数確認	移動開始時	移動前には、子どもの所在・状態を自目で確認する。	適合		
20	移動時の安全管理	移動中の定期確認	移動中（定期）	移動中、交差点や信号待ち、その他一定の間隔で立ち止まり、定期的に目視確認する。	適合		
21	移動時の安全管理	目的地到着時の確認	到着時	目的地到着時の目視確認を行い、安全に到着したことを確認する。	適合		
22	移動時の安全管理	出発・帰着点呼	出発・帰着時	出発時及び帰着時の点呼を行い、全員がそろっていることを自目で確認する。	適合		
23	移動時の安全管理	児童の氏名確認	移動中・都度	移動時における児童の氏名確認（名札の確認や声かけ）を徹底する。	適合		
24	移動時の安全管理	視認範囲の移動	移動中	児童の視認できる範囲（手の届く範囲、または常時目線に入る範囲）での移動を維持し、死角を作らない。	適合		
25	移動時の安全管理	道路横断の安全	横断時	道路横断時の安全確認（左右確認、手を挙げる等の指導、信号無視車両や右左折車への注意）を徹底する。	適合		
26	移動時の安全管理	公共交通機関の安全	乗車・降車時	公共交通機関（バス・電車等）利用時の安全確保（乗降時の隙間・段差、車内での手すり保持、他乗客への配慮等）を図る。	適合		
27	移動時の安全管理	送迎時の乗降確認	送迎時	送迎時（自動車、園バス、その他乗り物）の乗車確認及び降車確認を徹底し、一人ずつの点呼を行う。	適合		
28	移動時の安全管理	置き去り防止確認	到着・帰着時	置き去り防止のため、車両内や移動経路の死角となる場所、トイレ等を複数回（ダブルチェック等）確認する。	適合		
29	移動時の安全管理	[改善] 車両運行時ダブルチェック	乗降時	【所在把握】公共交通機関利用時は、乗降時及び降車後に子どもの所在を自目により確認し、車両等への置き去りがいないことを確認する。	適合		
30	移動時の安全管理	[改善] 熱中症警戒アラート	戸外活動前	【夏季】熱中症警戒アラートやWBGT（暑さ指数）を確認し、指数が高い場合は戸外活動を見合わせ、エアコンの効いた室内保育に切り替える。	適合		

年間安全研修計画・実績表（令和8年度）										
※毎月1回以上実施し、実施状況を管理します。										
実施月	研修テーマ	ねらい	具体的な研修内容・カリキュラム	実施対象	実施方法	計画日	実施日	参加人数	ステータス	特記事項・受講者の所感
4月	家庭内事故・危機管理	家庭内で発生しやすい事故の危険性を理解し、安全な保育環境を整える力を養う。	・誤飲、誤食防止 ・転倒、転落防止 ・窒息事故防止 ・やけど防止 ・危険箇所点検	全シッター	マニュアル・事例確認				実施済	
5月	SIDS（乳幼児突然死症候群）	乳児の睡眠時における安全管理を理解し、事故防止に努める。	・仰向け寝の徹底と確認動作の習得 ・寝間着の整理（寝いり用、顔にかかるとの除去） ・寝間チェック（呼吸・顔色を乳児分、幼児10分で実施） ・乳児観察シートの記入法	全シッター	ケーススタディ・実技				実施済	
6月	水遊び・熱中症対策	水遊び及び夏季の活動時における事故防止と体調管理を学ぶ。	・水遊びの安全管理（水深数センチの危険性、監視の徹底） ・熱中症予防（WBGT値の確認手順、水分・塩分補給） ・体調観察（初期症状の発見と対応） ・緊急時の緊急要請判断	全シッター	講習				未実施	
7月	地震対応	地震発生時に子どもの安全を確保し、適切な避難行動が取れるようにする。	・身の安全確保（シェイクアウト、頭部保護） ・避難方法（ドア開放、避難口の確保） ・避難場所の確認手順（訪問先エリア） ・保護者への緊急連絡・安否報告フロー	全シッター	避難訓練・実技				未実施	
8月	火災対応	火災発生時の初動対応及び避難方法を理解する。	・火災発生時の対応（周囲への周知、119番） ・初期消火の判断（消火器の使用手法） ・避難行動（煙対策、避難姿勢の確保） ・通報訓練（住所・階数の伝達）	全シッター	消防講習・消火・避難訓練				未実施	
9月	災害時の保護者引渡し	災害時に安全かつ確実に児童を保護者へ引き渡せるようにする。	・引渡し手順（引き渡しカードの確認） ・本人確認（代替人の場合の確認フロー） ・緊急連絡体制（災害対応ダイヤル119等） ・引渡し記録の記入と保管	全シッター	ロールプレイング				未実施	
10月	不審者対応	不審者対応について理解し、児童の安全を最優先に行動できるようにする。	・不審者の立ち入り防止、生徒の脱走徹底 ・警戒への避難方法（且つ必ず119番に状況伝達） ・避難方法（安全な位置等への児童避難） ・防犯ブザー、身近なツールの活用手順	全シッター	防犯講習・訓練				未実施	
11月	戸外での地震対応	散歩や外出先での地震発生時の対応力を高める。	・落下物対策（看板、ブロック壁、電柱からの距離） ・避難場所の確認（一時避難場所への誘導） ・戸外での避難訓練（安全姿勢の確保） ・人数確認（移動中の目視、声かけ）	全シッター	実地ルート訓練				未実施	
12月	戸外での火災対応	戸外で火災が発生した際の安全な避難方法を理解する。	・煙対策（風上方向への避難、濡れタオル等の活用） ・避難経路（火災現場を迂回するルート決定） ・避難訓練（児童のチェック防止・声かけ） ・移動時確認（目視と声かけの徹底）	全シッター	ケーススタディ				未実施	
1月	戸外での津波対応	津波発生時の迅速な避難行動を身につける。	・津波警報等の速やかな確認（スマホ防災アプリ等） ・高台・津波避難ビル等への即時避難行動 ・避難ルートの事前把握と傾斜地の確認 ・避難後の安否連絡・本部に伝えるべき情報	全シッター	ハザードマップ確認				未実施	
2月	地震による二次災害（火災等）	複合災害発生時の判断力及び対応力を高める。	・地震直後の火災対応（初期消火・避難の判断基準） ・複合災害（停電、断水、液状化等）への備え ・避難判断（その場に留まるか、避難所に行くか） ・情報収集方法（自治体公式サイト、ラジオ等）	全シッター	机上シナリオ訓練				未実施	
3月	津波・水害対応	津波及び風水害への対応を確認し、年間の安全管理を振り返る。	・大雨・台風時の浸水対応（垂直避難のタイミング） ・津波避難（海岸付近からの速やかな離脱） ・避難経路の再確認と避難の出し出し ・年間安全管理活動の振り返りとヒヤリハット分析	全シッター	振り返り・意見交換				未実施	

ヒヤリハット・事故管理簿（令和8年度）										
※ヒヤリとした事実や、事故の記録を管理し、再発防止の共有・対策に活かします。										
No.	発生日時	児童名(假文字)	年齢	発生場所	状況区分	具体的な発生状況・原因	応急処置・対応内容	対策・再発防止策	保護者への報告日	社内共有・研修反 映日
1	4/15/26 10:30	AK	1歳6ヶ月	リビング (朝服先)	ヒヤリハット	遊ぶつ替えのためシッターが一瞬目を離した際、テーブル上のアレキリモコンを手に取り、電源カバーを弄そうとしていた。カバーのロックが壊れており、単4電池の露出リスクがあった。	すぐにリモコンを取り上げ、電気が通っていることを確認。児童に異変がないが確認した。	保育開始時の安全確保で、電気が入った機器のカバーが固定されているが確認。児童の手の届く高さでこれらの機器を置かないよう、保護者と両確認の上で配置を徹底した。	2026/04/15	2026/04/30
2	2026/05/12 15:45	ST	8ヶ月	和室 (朝服中)	ヒヤリハット	ベビーベッドで睡眠中、寝返りをしてうつ伏せの状態になっていた。顔が柔らかい敷布団にうずまりかけており、5分間隔の睡眠呼吸チェック時にシッターが発見した。	直ちに仰向け寝にし、顔色、呼吸、意識状態に異常がないことを確認。その場しばらく見守りを行った。	睡眠時チェックの「乳児5分間隔」を再確認。保護者に柔らかい敷布団や高反のぬいぐるみ等の危険性について共有し、寝返り時の安全確認を相互に確認した。	2026/05/12	2026/05/31
3	上記は、記入例です。									
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										